

2010年11月24日

ご参考資料

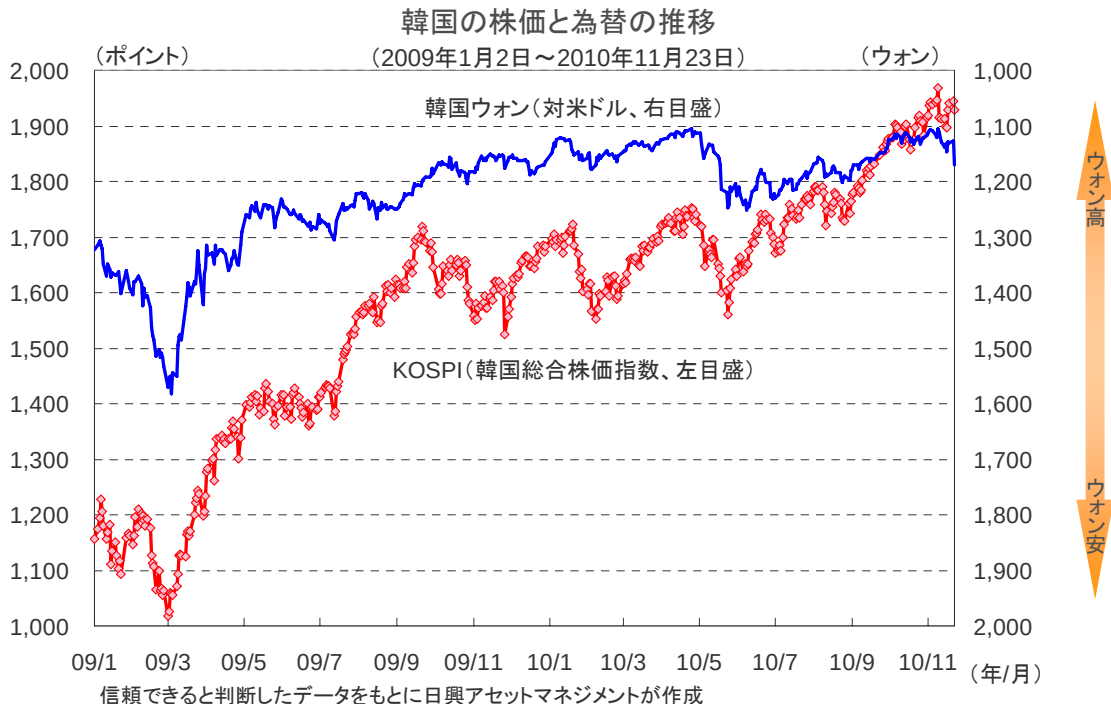
Follow Up
Memo

フォローアップメモ

nikko am
fund academy

朝鮮半島における緊張の高まりについて

韓国が黄海上の南北軍事境界線と定める北方限界線に近い、韓国領・延坪島（ヨンピョンド）に向け、23日に北朝鮮から砲弾が発射されました。また、これに対して、韓国軍が応射を行ないました。朝鮮半島での緊張の高まりを嫌気し、同日は世界的に株価が軟調となったほか、為替市場では韓国ウォンが対米ドルで4%近く下落しました。



延坪島は、韓国と北朝鮮の海上の境界近くに位置する小さな島で、過去にも紛争の火種となったことがあります。今回、北朝鮮が砲撃を行なった真の理由は定かではありませんが、同国と緊密な関係にある中国も、北朝鮮の政権の不安定さを抑えることが出来ていない模様です。

北朝鮮はこれまでも、政権に対する国内の支持の高揚や、日・米・韓などを国際交渉のテーブルに着かせること、さらに、交渉を有利に進めることなどを狙い、軍事的な事件を起こしてきました。しかし、北朝鮮の挑発的な行動に対して、国際社会はこれまで冷静な対応をとってきており、今回も同様の対処が期待されます。

以上

日興アセットマネジメント株式会社
チーフ・グローバル・ストラテジスト

ジョン・ヴェイル

John F. Vail

※上記グラフ、データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

- 当資料は、日興アセットマネジメントが投資環境についてお伝えすることを目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。
- 投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。